

~~~~~伝笑鳩~~~~~第17号~~~~~

1991 今月の一  
2 月

苦笑の提案  
サダム・フセイン君へ  
ゴルゴ13と連絡がとれましたのでお知らせ  
致します。 ブッシュ  
(東松山市/新井 健)

朝日新聞余話を少し。

2月16日(土)の夕刊ウィークエンド経済から、毎週ひとつビジネスジョークが掲載されることになりました。1月5日(土)のジョーク特集の反響を踏まえて当サロンにも参加された岩城編集長から、新紙面に織り込むことにしました、と連絡がありました。感謝、感謝です。

(『けいざい特区』という欄です。エッ、とっくに読んで、失礼しました)

先月の伝笑鳩を送付の際に、同紙で紹介された会員の作品のコピーを同封しましたが、笑撃度は如何でしたでしょうか。今後は是非皆さんも伝笑鳩のみならず朝日新聞にも投稿下さい。

新しく伝笑鳩の読者になりたいという方からの手紙は、その後も若干増え延べ110人近くになりました。継続を希望する方には切手のカンパを依頼しましたが、40人程になりました。これまでの読者も合わせ現在の読者はお蔭様で100人を突破しました。これも感謝、感謝です。

新しい読者からのお便りの中から楽しい話をピックアップしまして、笑介します。

市川市/印南博之さん。「君、ジョークうまいねェ」「ウン、笑学生」「おじさんもうまいねェ」「分かる? 笑ニ科のお医者さんだよ」

甲府市/市川きよみさん。「独居老人ならぬ独居艶人です。よろしく」

東京都文京区/小田 明子さん。「仲間に入れて下さい。誘って下さい」

(是非入って下さい。待っています。というのが、誘いです)

大和市/阿部 久二郎さん。「伝笑鳩15号は、赤ワインに浸したようで、読み続けるに次第に焦点定まらず、眼底少々疲労を覚えるのは私だけか? 用紙の色は……」

(赤ワインはあかんかったでしょうか? 実は年配の方から幾つか同様の便りがあり、動揺しました。赤は12月のクリスマスカラーでした。ご容赦下さい。以後注意します)

横浜市/西森 梢さん。「いつの日か、紙上参加できるのを楽しみにしています。ケイエヌ(消えない)」

(いつの日がいつの日かいつの日か分かる。なるべくお早くお願いします。KN)

富山市/石黒 徹さん。「伝笑鳩16号、確かに落手いたしました。楽しく読ませていただきました。ここでジョークを、と思うのですが、無念にも出ません。カンパを同封しますので、例会の茶菓代の足しにでもなさって下されば幸いです。例会のご盛會を祈りつつ……」

(石黒さんの茶菓代は酒代になりましたのでお知らせ致します。感謝、感謝)

今月は沢山お便り来ていますので、まだまだ続きます。

京都市／広川 友雄さん。「第1号より16号まで、面白おかしく拝見させていただきました。小生も負けじと、一日一作で頑張っています。月に一回30発表しようと思っています」

という便りの直後に、早速一行ジョークが30個送られて来ました。その中から、幾つか☆☆☆のジョークを笑介します。

1. 鏡割れる。ミラーをミラーれへん。
2. 独身って妻ん無い。
3. 中にはオールを折る奴もいる。
4. 郵便局。「切手下さい」「こちらに来て下さい」
5. どこまで行っても、切りのない霧。
6. 「君はコヨミだね」「どうして」「可憐なあ」  
(来月も30個来るのかな? じゃ、待ってみよう)

一行で書くジョークをライナー  
(LINER)ジョークと言います。  
沢山作る人はえらいなー。

千葉市／石井 志津夫さんからは、激励のお便りです。「ジョークの会の活動を高く評価すると共に、その情熱とボランティア精神に敬意を表す一人であります。小生も早く仲間入り出来るよう勉強をしてみたいと思っています。今後の会の二升五合(マスマハンジョク)を祈念致します」

横浜市／橋本 光子さん。「毎日まじめに主婦業しています。結婚式の日、神に誓いましたが、後はケツマクっている女です。伝笑鳩を送って下さい」

(ケツマクって、というのはどうすることでしょう? シリません)

埼玉県戸田市／古矢 睦子さんからは、ありがたいお便りを頂きました。「私は耳が聞こえないせいもあって人との会話に苦むことが多いのですが、いろいろなダジャレやユーモアを、はじめは創作でなくて真似てでも言えばあとはとてもリラックス出来て会話もはずむでしょうと思いました。人と話していても面白い話はめったにないので、読めるというのは、私にとってはとてもありがたいので、どうか『伝笑鳩』をお送り頂けます様よろしくお願い致します」

(話して面白いもの。読んで面白いもの。いろいろ搜してみます)

仙台市／藤沢 浪子さん。これも長いお便りです。「口のへらないおばあにこれ以上なるかもしれないと恐れつつも、やっぱり面白くて楽しそうで、さすがにみんな見事だなァと思いました。伝笑鳩を読むだけでも、なんとなく頭の中が活を入れられたようになりましたから、不思議です。変集鳥故に真面目なときはいちいち( )を用いなければならず、お気の毒。笑いすぎて顔中シワだらけになりシワのばしのクリームを買ったという友人(52才)がいますが、そうはなりたくないから適当にと構えています。また、とても、楽しみにしています」

(変集鳥独白: 私も適当にと構えています。頑張りましょう、お互いに)

横浜市／倉持 節子さんからは似顔絵の書かれた手紙です。「以前はよくジョークを考えていましたが、最近あまり考えなくなりました。次号を楽しみにしています」

(考えなくなった? それはいけない。また、考えて下さい。但し、考えすぎないように)

冗談、5千万円。いや、8千万円。ともいう冗談にも笑えない事件がありました。

米国ユナイテッド航空の旅客機に乗った日本人乗客が、酒に酔って米国人スチュワーデスに丸めた汚物入れを「This is a bomb. (これは爆弾だ)」と言って渡した為に、スチュワーデスは真に受け、機長が成田に針路を戻したという事件です。賠償を要求されるだろうとのこと。

新聞・TVでかなり報道されましたので、皆さんも関心があるかも知れないと思い書きましたが、本当に冗談じゃない、という気持ちです。

TVで紹介された冗談3原則

1. 時をわきまえて言う。
2. 場所をわきまえて言う。
3. はっきり冗談と理解してくれることをわきまえて言う。

特に3番目が大切です。注意しましょう。

(教訓「慣れないうちは、外人に冗談は言わないようにしましょう」)

---

では、真面目なものを。久し振りの『如是我聞』／神山南朝作です。

★デザートにイチゴが出た途端、Oさんが言った。

「これをたべるといい知恵が出るよ」みんな怪訝な顔して、どうしてと聞くと

「イチゴいい知恵(一期一会)」

★所得税の源泉徴収の扶養家族のことで、珍しく真剣に妻と話し合っていたら、子供達が不安そうな顔付をしてこちらを見ているのに気づいた。

「みんなそんな顔してどうしたんだ」と聞くと、当時六才の長男がこう言った。

「僕達みんな不要なの？」

★素人劇団に入って小道具作りに精を出している長女に、妻が言った。

「随分と根気が続くわね」すかさず私が言った。

「そんな事に熱中していると、婚期を逸するぞ」

(根気と婚期、今期の傑作。というのが、サロンの皆さんのご意見のようです)

---

新・人生訓四題／作：和田全弘 初参加の和田さん持参の有りがたい教えです。

ローンより勝負 ————— 安易にサラリーローンなどに手を出さず、競輪・競馬・パチンコに励めという人生訓。

意志の上でも残念 ————— 意志がいくら強くても運がなければ、ものごとが成就しないという戒め。

アル<sup>サ</sup>気 アル<sup>サ</sup>気 アル<sup>サ</sup>気 アル<sup>サ</sup>気 ——— アルコール賛歌。大道を左右に蛇行しながら歌うを以て最も良しとする。(この歌は古い歌らしい)

帰る子は帰る ————— 自分の意志をハッキリせよとの戒め。

(身近な教えがありますので、参考にします。この他「おかめ注目(山田邦子が売れている様をいう)」というのもありました。やはり、運がなきゃあいけないね。ウン)

新年初春例会盛況状況徹底完全密着取材特別報告。1月25日金曜実施。

白組（長井敏・神山徹・曾田英夫・和田全弘・横山朝夫・諸星彰三・野本浩一）

紅組（平田レイ子・山田ちづ子）

注. 下線の人は初参加。

例会の盛り上がり貢献度大の方々が所要で欠席でしたので、やや盛り上がり欠ける感じはあるものの、初参加の方のアカデミックなコメントで格鳥という鳥が飛び交いました。

諸星さんはたまたま長崎から出張して、当日変集鳥に☎して「時間があったら会いませんか」と言ったばかりに、参加することになりました。口は災いの元でもあるし、災いを転じて福となすでもあります。（皆さんも出張の折は、よろしく）

和田さんは第1号からの読者です。十年の単身赴任生活を終え、やっと東京勤務になり、例会に初参加です。当日は人生訓（前頁）を披露して貰いました。その後、感想が寄せられました。

「毎回出席します——と張り切ると、脱落する型の人間なので、時々出席したい——と遠慮がちに申し上げます。とは言え、大変楽しい会でした。いささか面白味に欠ける私ですが、皆様と交わることで、面白人間になることが出来るかも知れないと期待しております」

山田さんは朝日新聞の笑介を読んでの参加第1号です。当日のサロンにおける名言「ひとりで笑うのって、つまらないと思うんです」には、一同うなづく所がありました。感想は以下です。

「ジョークサロンの皆様と、心底から笑えるひとときを共有させていただくことができ、本当にありがとうございました。私はユーモアマインドがあまりないものですから、他人様を笑わせたりすることはなかなかできませんが、笑いころげるのは大好きです。こういう参加動機もあるということで、今後ともどうぞ宜しくお願い致します」

横山さんは湾岸戦争の調停の鍵を握るゴルバチョフ大統領の苦悩を歌に詠みました。

ゴ　　ご勘弁  
ル　　累積赤字と  
バ　　バルトに悩み  
　　チョ　　調停出来ず  
　　フ　　不徳のいたり

湾岸戦争いつ終わるのかなあ？  
湾岸ないよ。  
注.（わかんないよ）

3月の例会は22日です。近県の方々は、是非どうぞ。作品の郵送も受け付けています。

同巢会から

2月5日に同巢会委員会がありました。まだまだ利用出来る日で空いている日が多いとのことです。是非会員の方は、イベント等を企画してみてください。沢山のビジターの方に参加して頂き、楽しみを分かち合いたいものです。

第3金曜は今後は、ワイズトランクということでYMCAのOBの方の会合が定期的に入るようになりました。

伝笑鳩第17号

発行 1991.2.22

変集鳥 野本浩一

変集協力 曾田英夫

平田レイ子

長井敏

発行所 同巢会